



かがやく 睦

研究授業が始まりました

学校教育の根幹、それは言うまでもなく授業です。授業は、知識や技能というテストで測定できる力を育てるだけではありません。「粘り強さ」「取り組む意欲」「ていねいさ」などの態度、共感的な人間関係など、テストでは測定できない資質・能力を育てる場でもあります。よりよい授業を求めて、これまで4月から研究主任の先生を中心に計画を立てながら、研修を行ってきました。いよいよこれからは実践研究ということで、昨日の1日(木)、4年生で社会科の研究授業を行いました。

今回の授業は「わたしたちの水はどこから」という単元の1時間目でした。この時間のめあて「わたしたちの生活にかかせない水について、学習問題をつくろう。」に向かって、自分たちの生活経験を基に「水時間表」をみんなで作り上げていきました。

「水時間表」というのは、右の写真のように、各時間帯にどんなことに水を使ったのか付箋に記入し貼っていくものです。毎日の生活を思い出しながら付箋に書いて貼っていく子どもたち。担任の先生のヒント参考にしながら、懸命に思い出し、友だちと教え合いながら授業は進んでいきました。



「7時と12時にたくさん水を使っている。」

「なんでこんなに水を使っているの？」

「みんな、ご飯を食べているから。」

「じゃあ、どれくらい水を使うんだろう？」

「なぜ、蛇口をひねると水が出るんだろう？」「水はどこから来ているの？」

と、気付いたことを発表していくと、新たな疑問がわいてきます。このように授業は進み、最後には

「水はどれくらいつかうのだろうか。」

「水はどこからくるのだろうか。」

「どこに行くのだろうか。きれいになるのだろうか。」

というポイントをみんなで調べていくことになりました。

本校の目指す授業の姿である、「自分の考えを出し合い、それを『聴いて』『考えて』みんなの考えと『つなげる』姿」を4年生が見せてくれました。これから、授業が進んでいくと、「自分の住む地域では、家ではどうなのだろうか？」と、お家の人に聞く場面も増えてくるかと思えます。そのときには、お子さんにいろいろと教えてあげてください。そして、この授業が終わったときには、SDGsを考えながら、水を大切につかっている子どもたちの姿が増えていることを願っています。



【水時間表を前に話し合います】

今日は学校評議員会がありました

今日、学校評議員の皆様にご来校いただき、子どもたちの授業を見ていただきました。その後、協議を行い、学校経営に対するご意見・ご感想をいただきました。

本校の学校評議員は ○ ○ ○ ○ 様 ○ ○ ○ ○ 様
○ ○ ○ ○ 様 ○ ○ ○ ○ 様 です。

本日の様子は次号でお知らせしたいと思います。